

熊本子ども囲碁便り

No. 8 2012.8.5

発行：熊本子ども囲碁普及会

託麻囲碁クラブ内 096-382-0174

第三回交流大会！48名参加！



大部屋では32名の20級から10級までのチビッコ棋士達。
上級・有段者はとなりの畳の部屋にて正座で真剣に対局！



7月22日（日）「第3回交流大会」が開催されました。（於託麻囲碁クラブ）

熊本市内子ども教室、玉名教室からも参加いただき20級（入門）から有段者まで48名の暑い熱気に包まれました。今回はなるべく同じ教室同士当たらないように対戦表をつくりましたので楽しい**囲碁交流**ができたと思います。

午前中に4局対戦し、おにぎり弁当を全員でおいしくいただきました。

また、試合を待つ間に保護者の囲碁対局や有段者による指導もみられ保護者間の情報交換や交流もできたようです。

今回も駐車場の協力をいただきました「大劇長嶺店」様に感謝申し上げます。

次回は10月の予定です。

全勝者は下記のとおり。

岐部 敏喜（二段）・ 諏訪免 美久（11級）・ 池内 光希（12級）・

松本 大輝（16級）・ 金城 裕士（19級）・ 志水 洸介（20級）



各教室から・・

佐土原子ども教室

(熊本市東区佐土原 1 丁目 1 0 - 1 Tel.096-367-1707 渡辺利男)

プロ棋士がひょっこい訪問！！

去る、7月6日午後、熊本出身のプロ棋士・久保秀夫六段が突然、当教室を訪問して頂きました。生徒たちは、初めて見るプロ棋士にビックリ！

早速6面打ちをしてもらいました。全員9子での指導で、時間の関係で最後まで打ち終えることはできませんでしたが、一人ひとり並べ直してアドバイスを頂きました。(一度に6人を相手にした碁をよく並べ直すことができるものだと思います。さすがプロ！！)初めて、プロと対局した感想を二人に書いてもらいました。



久保六段との対局。みんな真剣！
終わった後は、はい！チーズ！



僕は、プロと打って「やっぱりプロは強いなあ」と思いました。勝てそうだったのですが、大石を取られてしまいました。でも、自分もプロ相手に大きな陣地を取ることができたので良かったです。最後に、僕の大石はコウで助けることができたんだよと、アドバイスしてもらいました。プロの人と打てて良かったです。

佐々木 仁 (東町小5年 4級)

プロ棋士の久保六段と打つことができ、石の置き方などを教えてもらい、とても勉強になりました。久保六段は、とても強くてすごいと思いました。私もいろんな大会に出て、早く強くなってプロ棋士になりたいと思いました。

諏訪免 美久 (山の内小4年 11級)

“一番後で追いかける父”

井沢俊樹

我が家は、突然全員で囲碁を始めました。あるきっかけから子どもたちに囲碁をさせてみようと思ったのです。そのきっかけとは、私の職場の同僚に囲碁の魅力を熱く語られる方がいて、当時まだ上が7歳、下が5才の娘たちが囲碁をしたら・・・と楽しい想像が働いたからです。

問題は、どのようにして娘たちをその気にさせるかです。親たちが一緒に打てば、ゲーム感覚で乗ってくるかもしれない。とは言え、45才になるまで全く囲碁とは無縁の生活でしたので、何から始めてよいか皆目分からず、ネットで検索してみることにしました。そこで見つけたのが「インタラクティブ囲碁入門」というサイトです。このサイトは、全く囲碁を知らない人でも、基本的なルールが分かるように上手に構成してありました。

よし！これで始められるぞ、と9.13路盤セットを購入。早速家族でやってみることにしました。

ところが、期待に反して一番興味を示したのは、娘たちではなく連れ合いでした。娘たちはすぐに飽きて他のことをし始め、仕方なく夫婦で石取りゲームをしているのです。でも仕方なく二人で打っていると、なんと面白い。全くの素人同士なのに(逆にそれがよかったのかもしれませんが・・・)9路盤という小さな盤の上で毎回いろんな発見があるのです。子どもたちは両親がこのように二人で楽しそうに遊んでいるのを初めて見たのでしょう。他のことをして遊んでいたのに、再び碁盤の側に寄ってきて、今度は自分が打つと言い始めました。このようにして我が家の家族囲碁生活が始まったのです。

そんなとき玉名支部で開かれている初心者囲碁教室の存在を知ったのです。電話をして見学させてもらい、仲間入りさせていただきました。何度か連れ合いと娘たちが通った後に私も参加させてもらったのですが、そこに集まっておられたのは、小学生からご年配の方までほんとに幅広い年齢層で、しかも何とも言えぬ穏やかな雰囲気の流れていました。囲碁自体の勉強もさることながら、こんな場所でいろいろな方と触れ合うことが娘たちにとって大切な経験になるなど話し合いました。



それから3年、囲碁の腕は精進足らずなかなか上達しませんが、娘たちと連れ合いはずっと通っています。その間、娘たちはもう辞めたいと言い出すことも間々ありました。特にいつも負けてばかりいた長女が、本当に辞めるのではと心配したりもしました。なんとか娘たちのモチベーションを上げようと、「ヒカル碁」のアニメを見せたりもしました。しかし、そのようにして続けてきたおかげか、最近は全く辞めたいとは言わなくなりました。そして、私はというと仕事との重なりが多く、囲碁教室からだんだん足が遠のいてしまっています。

相変わらず、我が家での囲碁にかかる情熱は、連れ合い一番、次女2番、3、4番が私と長女。でも、数日前仕方なく付き合っているふうに参加していた長女が「囲碁大好き！」と言いました。これからもマイペースに家族囲碁を楽しんでいきたいと思っています。

RKKカルチャーセンター子ども囲碁講座

(熊本市長嶺南 3-9-1 RKKカルチャーセンター TEL096-383-3900 囲碁講師 藤森常生)



子ども^{い ご きょうしつ}囲碁教室の仲間達、^{なかまたち}囲碁の想いを^{おもい}短冊に^{たんざく}書きました^か

- おじいちゃんや先生に、本気で勝てるようになりますように (田中淳仁 小2)
- しょうらい 9だんになりますように (田中淳仁)
- しょうらい 囲碁の先生になりますように (古庄未奈 小2)
- 囲碁のたいかいに出れますように (古庄未奈)
- 試合で4勝できますように (鹿島知紘 小6)
- 級が10級より上になりますように (鹿島知紘)
- いごのたいかいに出れますように (古庄功史郎 小2)
- しょうらいのゆめで すぐだんになりますように (古庄功史朗)
- いずれトロフィーがもらえますように (二宮大河 小4)
- いごがつよくなりますように (古庄豊満 小1)
- とうさんに「今日は勝ったよ」と碁のじまん (藤森先生)
- 碁は負ければくやしいけれど 勝てば数倍おもしろい (藤森先生)
- みんな 碁が強くなってネ ((女) 藤森先生)
- “おれもプロになれるかな!” (くまもん)
- “からだの色を黒でなく白にしてよ!” (くまもん)

平成24年6月23日

ねがいごとが
かないますように・・・
囲碁が強くなりますよう
に・・・



囲碁教室『阿蘇一碁一会』・ヒカルの碁スクール『阿蘇』

(阿蘇市一の宮町宮地 6273 番地 6 050-3481-7045 代表 藤崎幸次郎)

こんにちは！ヒカルの碁スクール『阿蘇』の藤崎です。

7月の豪雨では、阿蘇市を初め熊本市内の白川流域、福岡、大分でも多くの方が被害にあわれ、亡くなられた方もたくさんおられました。心からお見舞いと御悔やみを申し上げます。

当分、囲碁どころではないかもしれませんが、一刻も早く復旧して、また囲碁が楽しめる様になればいいですね。

7月7、8日は、阿蘇白雲山荘で行われた「全九州ペア囲碁オープン戦」に参加しました。

お相手は、大分の教室に来て下さっていた衛藤弘子さんと、私と同年代の奥様です。

棋力は、下がる事のない囲碁愛好会で三段、碁会所では5級、東洋囲碁では14級の方です。

彼女は最初私と21目の置き碁でスタートしましたが、ネット碁で年間1000局の猛勉強で、数年で、星目までなった努力の人です。

去年は、Cパートで3勝2敗だったので、今年はやはりCパートで4勝を目指しました！

1回戦はパート優勝したペアで、順当に負け。2回戦は優勢から一転敗勢に。しかし終盤私たちの時間が残り1分の時、死んでた石が生き返り、清く投了して下さり1勝！

初日、2敗すると晩ご飯が美味しくないので、1勝出来てよかったです。

夕食は、豪華な御膳で美味しかったです。アトラクションでは勇壮な太鼓演奏やフラダンス、カラオケなどがあり、楽しかった。特に女流の安留さんと言う方と、武宮陽光先生がプロ並みにお上手で驚きました。私も、衛藤さんと『愛が生まれた日』をデュエットしました。

その夜は、一部屋に集まりプロの先生を交え、皆でお酒を飲んだり対局したり歓談したりで、楽しかった。こう言う交流が大事だと思いました。

二日目は、遠方から参加している人の配慮で、9時対局開始。

昨日は寝るのが遅かったのに、朝5時半に目が覚めてしまい、前日と共に睡眠不足での後半戦でした。

三局目は、福岡の強豪とそのお弟子さんの若い女性のペア。

序盤から圧倒され、中盤では投げようかという形勢で、相手の女性がとんでもないミスをされ、それでも悪かったのですが、男性がショックを受けて投了！タナボタの1勝でした。

4回戦は、序盤厚く打ち優勢に進めるも、隙を突かれて敗勢になる寸前女性のミスで事なきを得、中央の大石を召し取って中押し勝ち。

5局目は、3連勝1敗の福岡ペアで強かった。

結局、昨年と同じ3勝2敗で終了。

入賞もきっちり賞にも入らない中途半端な成績で、おまけに抽選会でも何も当たらずがっかり。でも、来年はリベンジを誓い合って会場を後にしました。

この大会は、子供達も十数人参加していましたが、子供は参加費も安くなっていますので、来年は、ぜひ皆さんも参加してみても如何でしょうか。

棋力が弱くても、パートナーが補ってくれるし、それが勉強にもなります。

悔しさは半分喜びは倍になると言われています。

今から、お友達を予約して二人で勉強すれば棋力もぐんとアップする事、請け合いです！

お世話下さった、役員の皆さん本当にありがとうございました。

今後は、後継者を育てて頂き、末永くこの会が、盛会に続きますよう祈念致します。

熊本チビッコ碁友会（託麻囲碁クラブ）

（熊本市保田窪5丁目9-23 Tel096-382-0174 西山育子・田中信夫）

「一目(いちもく)置いています」

相手の才能、能力に敬意を表す言葉である。一目は、眼ではない。囲碁の一目のことである。囲碁の世界では一目の差は大変な差である。ここから、私は弱いので、一目置かせていただきます。ハンディをもらいます、ということになる。つまり、相手の強さを評価すること。ここから囲碁だけでなく、才能、能力を期待しているという意味にも使われるようになった。・・・

普段の生活の中には囲碁から来たことばたくさんあります。みなさんも探してみてください。（記 田中）

人吉球磨支部子ども囲碁教室

（人吉市西間上町 2569-2 みのだ内科循環器科内 0966-28-3111 支部長 蓑田耕太郎）



ぼくが、いごをはじめて、さいしょは石とりゲームでした。みんながさきに本当に囲碁をするようになりました。ぼくは「いいなー」と思いましたが、すぐおいつけました。それで、さいしょはつよかったけど、ついさいきんまでは、みんなのほうがつよかったです。
さいきんは、トーナメントもあって、ゆうしょうすると1きゅうか2きゅう上がるのでたのしいです。

西瀬小学校2年 木下ともひろ



熊本母と子の囲碁教室

(熊本市下江津 3-4-7 TEL096-370-2263 江藤 由久子)

“囲碁と経営者”

囲碁と経営者のかかわりは深い。囲碁の特徴として戦術と戦略を上手に組み立て一局を作り上げる。全体が見えていないと部分戦でうまく打てても敗けになる。要するに大局観が大事なのです。経営もまさしく同じで大局を誤るともうけばかり考えて欲張ると必ずそのしっぺ返しがくる。相手のことも考え、相手より少し得する。それが商売の心得にもつながる。一手一手の判断はすべて自分の責任で囲碁でも経営でも選択を一つするのに冷静な判断を要します。

グロービス経営学院 学長の堀義人氏は、若手経営者に「企業リーダーシップ」を教えている。その中で日本経済の活性化のためには経営者の「経営力」を上げることが不可欠と言っています。その為には、日本の若手経営者に囲碁を打ってもらおうのが早道だと考えている、とまで言っています。

私たち子ども囲碁普及者はそういう意味で思慮深い判断の出来る経営者の卵を育てているとも言えそうです。

(記 江藤茂)

少年少女囲碁大会参加記

芦田 司

熊本大学教育学部附属小学校のチーム、3名は昨年に引き続き、今夏も東京 市ヶ谷の日本棋院で行われた「少年少女全国囲碁大会」に参加することができました。大会は団体戦が7月29日・30日に行われました。

熊本県代表の3名は主将 前田典俊(4年)・副将 芦田華(5年)・3将 朴朴頌希(1年)でした。

試合は3回戦で、初戦は東京早稲田実業初等科・・早稲田カラーのえんじ色のTシャツで統一したハイレベルのチーム。熊本チームは3人とも負けました。

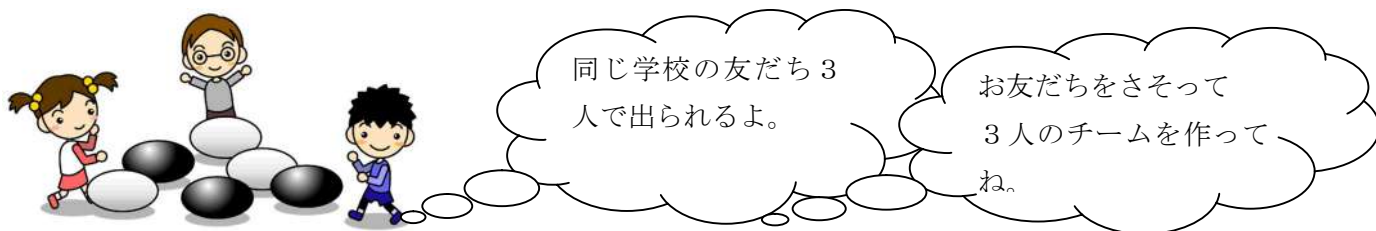
二回戦は徳島鳴門大学教育学部附属小学校のチーム。今度は三人とも見事に勝ちました。引率者としてはホッと胸をなでおろした結果でした。

最後の三回戦は栃木県足利の小学校のチーム。ここもライトブルーの学校のプリント入りTシャツで臨み、合いが入っていました。主将は小学生ながら五段の実力、主将、副将ともに敗れ、三将朴頌希ちゃんのみ勝ちました。頌希ちゃんの勝負強さが印象的でした。

試合が終わって、三人の表情は何とも晴れやかで、彼らなり一生懸命戦ったことが感じられた次第です。また、幾分成長したのではないかとも思いました。

この企画は囲碁を通じて全国子ども達が触れあう、中々良い機会です。囲碁を勉強している子ども達の特徴ではないかと思いますが、全ての子ども達のマナーの良さは特筆に値するものがあります。

熊本チームも来年はもっともっと実力をつけて、今度は二勝を目指したいものです。



一新こども囲碁教室

(熊本市新町 3-4-22 一新こども囲碁教室 Tel.096-352-7639 会長 毛利秀士)

E-mail;mouri@silk.plala.or.jp

夏休み前教室の報告・・・

熊本各地に大きな被害をもたらした豪雨の影響はありませんでしたか。新町周辺も坪井川、井芹川があふれる寸前となり、杉塘では市電が冠水、藤崎台周辺3ヶ所では崖崩れが起きました。

さて、校区の子ども達への囲碁普及は1月の入門編、4月のレベルアップ実践編、5月の連休期間に実践編の続きとして「夏休み前ステップアップ子ども囲碁教室」を開催しました。参加した8名の子ども達が楽しいと言ってくれるのは嬉しいけれど、実力を上げるのはなかなか難しいと感じています。今回はお母さん2名がルールを勉強してくれました。



こども達の声・・・

- ★ みんな上達してきた
- ★ 囲碁を忘れていたけど、思い出しました。
(久しぶりに参加した子ども)
- ★ 楽しかったです。また来ます。
- ★ やさしくやってくれるのがいい。

『もう一目強くなろう』こども囲碁教室！

7月の教室に引き続き、「もう一目強くなろう」を合言葉に「楽しい夏休み子ども囲碁教室」を開きます。皆さんの熱心な対戦で実践力が少しずつ身についてきたようです。もちろん全くの入門者も大歓迎ですよ。また、9月からは熊本市子ども文化会館と共催して、月2回、日曜日の午後、3ヶ月間、合計6回の「特別こども囲碁教室」を計画していますので、ご期待下さい。どうぞ、皆さまの周りの方に教えてあげて下さい。

『もう一目強くなろう』こども囲碁教室

日 時： 8月18日(土) 午後1時半～4時
8月19日(日) 午後1時半～4時
会 場： 段山八幡社務所
連絡先： 一新こども囲碁教室 毛利 (096-352-7639)



写真右上：秋田県代表と対戦

左上：試合終了後、上村プロによる検討

左下：左より 田中一成君、中園清三さん・
西實・金井和子さん

朝日アマ名人戦全国大会観戦記

普及指導員 西 實

去る7月15日（日）に東京日本棋院にて、朝日アマ名人戦の全国大会があり、本県代表は田中一成君（真和高校二年生）でした。私も応援に行きましたが、残念ながら一回戦敗退しました。

私はその時、上京中だったので、何か協力出来ることはないかと考え、プロ棋士やアマ強豪と実践するのが良いのではと思い、もし可能ならば金曜日（7月13日）お昼頃上京出来ないかと連絡したところ、可能というのでお母さんと一緒に上京してもらいました。7月13日は、日本棋院八重洲別院に来てもらい、早速、上村陽生九段（私の大学時代の後輩）との対局。先で11もく負けと善戦。更に友人の謝裕龍（中国上海出身・元関東名人）、寺田浩（日大OB 会主将）と対局しました。

又、翌日7月14日（土）にも同所にて、中村哲啓（元大学十傑1位）との対局、夕方からはプロ棋士大森泰志八段に先で対局。金、土の当日で五局の実践（少々、多かったと思いますが、本人の今後のプラスになると思い企画しました）

試合当日（7月15日）、一回戦の相手は、秋田代表、高橋氏（3年連続代表）、白番で一步及ばず敗れましたが、審判長が上村九段ということもあり、田中君と高橋氏を交え（郭求身六段も参加してくれる）検討、田中君には囲碁漬けの3日間、お疲れ様でした。

また、熊本出身の中園氏（友人）も代表で参加していましたので、金井和子さん（元女流本因坊）にもお願いして記念写真も撮りました。

今後、囲碁大会での上京の際には、私も出来る限り応援、協力をさせていただく所存ですので、何かありましたら是非、ご連絡下さい。私は、人吉出身（人吉高校卒）です。

熊本市中央区水前寺公園 25-3-101 096-297-9128

井山裕太本因坊については
上記のアドレスから調べてみよう！



井山裕太新本因坊
“にがおえ” 作 藤森常生

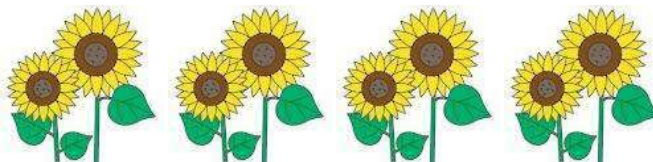
ちびっ子
囲碁をはじめよう

四冠達成！

RKKカルチャーセンター子ども囲碁講座

- ★ 2010年井山本因坊誕生の時、「碁ワールド」に掲載された似顔絵です。RKKカルチャーセンター藤森先生の作品です。井山本因坊（23才）はこの度、新碁聖になり見事4冠（本因坊・天元・十段・碁聖）に輝きましたのでご紹介します。藤森先生はとても絵が上手です。そっくりですね・・・。
- 井山本因坊は5才で囲碁を覚え、その後めきめき上達。小学校2年のとき「少年少女囲碁大会」で優勝しています。

お知らせ・・・



「南九州子ども囲碁交流大会」について

8月19日（日） 人吉にて開催します。

詳細については以前より各教室にお知らせしている通りです。

まだ申し込みされていない方はお急ぎ下さい。鹿児島、宮崎からもチビッコ棋士が参加します！

編集後記

各教室からたくさんの原稿をいただきました。また、東京でも活躍されている普及指導員の西さんからは強豪が集まる全国大会の様子をお知らせいただきありがとうございました。この夏休みに全国大会や TOT0 杯など大きな大会に参加した人も多いでしょう。ぜひ、その時の感想をお寄せ下さい。

（記 西山）